

## 指定管理者制度導入施設の状況について

### 1. 施設利用状況について（4月から10月末までの状況）

#### （1）集客施設（しまね海洋館、美術館、芸術文化センター、三瓶自然館、宍道湖自然館、花ふれあい公園）

近年において開館やリニューアルが行われており、傾向として集客力が減少するケースが多いが、増加に転じたものや減少率が低下したものが多い。

集客施設合計入館者数等推移（芸術文化センター、花ふれあい公園を除く）

年度	H15	H16	H17
人数	738,503人	676,279人(対前年 8.4%)	647,603人(対前年 4.2%)

#### （2）貸出施設（男女共同参画センター、県民会館、総合福祉センター、産業交流会館、産業高度化支援センター）

利用率は増加または横ばいとなっている。 別添資料参照

#### （3）その他の施設（都市公園、体育施設、風土記の丘）

公園については天候、体育施設については大会の開催状況等変動する要素があるため、利用者数による傾向がつかみにくい。有料施設使用料については増加または横ばいの傾向にある。

その他施設使用料合計額の推移

年度	H15	H16	H17
金額(千円)	46,616	52,667	60,583

### 2. サービス提供体制の強化

休館日、開館・受付時間等の弾力的対応、利用者満足度調査・ニーズ調査等の実施、意見箱等の設置、自己評価の実施・公表、外部評価を取り入れた事業評価の実施、職員研修の充実、職員対応マニュアルの整備

### 3. イベント等ソフト面の充実（印は利用者要望への対応）

- ・シロイルカパフォーマンスの上演回数の増加、土・日曜日を中心としたイベントの企画開催（しまね海洋館）
- ・七夕イベント、ミュージアムフェスティバルの開催、9月18日無料開放デー実施（美術館）
- ・毎週日曜日の館内ガイド、毎週土曜日の工作教室の実施、「月の石」展示における県内小中高生への無料招待券配付（三瓶自然館）
- ・夏期開園時間延長に併せたイベント（プラバン演奏、七夕祭、トークショー、ライブ）実施（花ふれあい公園）
- ・サンレイクと共同での夜の水族館実施、観察会の土曜日開催、日曜午後の給餌解説（宍道湖自然館）
- ・料金水準の引き下げによる利用者負担の軽減、国際会議場の会場設営サービス（くにびきメッセ）
- ・元プロ野球選手の指導による少年野球教室の開催、トレーニング室への職員常駐による指導充実（浜山公園）
- ・10月22日資料館無料開放（風土記の丘）

4．施設設備面の充実（印は利用者要望への対応）

- ・心臓停止事故対応用AED（除細動器）を県内初めて導入し、救急救命講習を実施（しまね海洋館）
- ・野外観察コーナーにセルフサービスの喫茶コーナー設置（三瓶自然館）
- ・休日利用者の駐車場確保（東部総合福祉センター）
- ・道路標識・案内看板の追加設置、車いす対応木橋設置、日除け施設設置、休憩用ベンチ増設（花ふれあい公園）
- ・タッチプールへの手洗い機設置、休憩用テーブル・イスの増設（宍道湖自然館）
- ・各会議室へのLAN回線の整備（産業交流会館）
- ・総合案内受付の設置（産業高度化支援センター）
- ・テニスコートクラブハウスホールへの放送機器設置（浜山公園）
- ・自動販売機のユニバ・サルデザイン仕様への変更（石見海浜公園）
- ・自動販売機のユニバ・サルデザイン仕様への変更（万葉公園）
- ・利用者用車いす、ベビーカーの設置（風土記の丘）